

# ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 <b>ナノデス・アキュドライブVII</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.494</b>	△RG <b>0.052</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：ナノデス・アキュドライブVII**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：ナノデス・アキュドライブV**

フレアーの幅  インチ

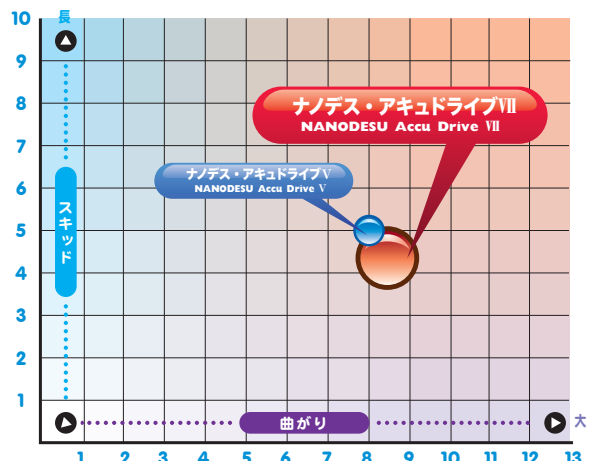
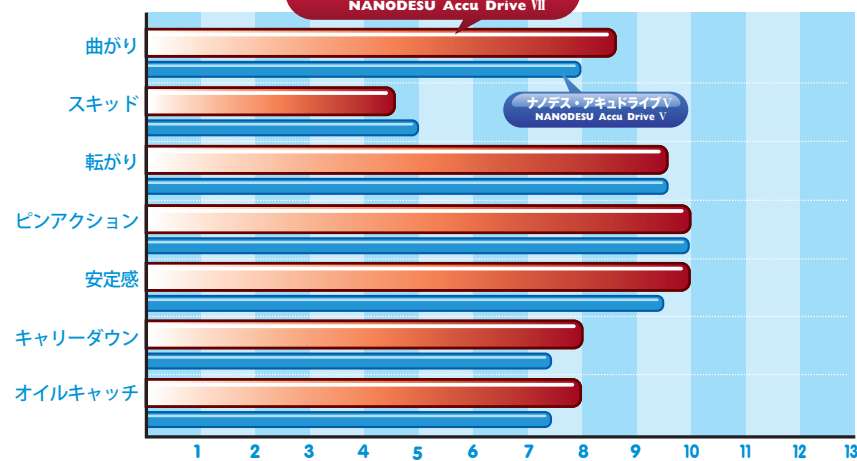
PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ

**ナノデス・アキュドライブVII**  
NANODESU Accu Drive VII



## ボールの評価

ボウラーにとって「信頼できるボール」という言葉は、単なる強さだけではなく、「結果を出せる性能」と「扱いやすさ」を高次元で両立したボールのことを指していると言えるでしょう。NANODESUシリーズは「信頼できるボール」と言ってもらえることが多く、その中核を担ってきたのが、シリーズ初代から採用されてきたSuper Edge Coreです。バランスの取れた慣性差による安定した回転移行とバックエンドまでエネルギーを蓄えられるコア設計は、多くのボウラーにとって勝負するライン取りができる大きな武器となってきました。

今回のAccu Drive VIIは、そのSuper Edge Coreと、本作最大の注目点であるABSの人気カバーNano-Bond 5.0 Pearlの進化系、5.5 Pearlとの組み合わせで、「攻撃的なライン取り」と「再現性の高いストライク」をコンセプトに作り上げました。Nano-Bondシリーズはナノ粒子技術によってオイルへの追従性を高めながら、パール素材特有のスムーズなスキッドを実現してきました。特にTOUR PREMIUM 8で高い評価を獲得したNano-Bond 5.0 Pearlは、走りやキャッチという相反する性能を高いレベルで両立した完成度の高い素材として知られています。Accu Drive VIIでは、このNano-Bond 5.0 Pearlが生み出すクリーンな走りやキャッチをパワーアップさせ、Accu-Drive5を進化させたりアクションを実現しています。

もともとNano-Bond 5.0 Pearlは、TOUR PREMIUM 8での初搭載以来、私が最も信頼するカバーストックのひとつです。テストングを重ねてきた私が感じる、その5.0 Pearlを進化させたカバーストック素材の凄みは、「キャッチしながら切れる」という相反する性質を高次元で両立していることです。オイルの上では迷いなくスキッドし、バックエンドに差し掛かった瞬間、まるでスイッチが入ったかのように鋭く方向転換する。扱いやすいのに、ピンアクションは誰もが驚くほど力強いです。

Accu-Driveシリーズは積み重ねてきた歴史の中で、常にシリーズとしての一貫性を守り続けてきました。その哲学がAccu Drive VIIにも宿っています。最新技術と実証済みのコア設計の融合。これが今のABSが届けられる、最高の答えのひとつだと私は確信しています。

## 特記事項

**Accu Drive VIIは、シリーズが長年積み重ねてきた「信頼と実績」を現代のレーン環境に合わせて再構築した一球です。強さだけでは測れない実戦性能の高さこそが、本作最大の魅力と言えるでしょう。**